



# みささ 議会だより



第105号 平成28(2016)年 10月号

## 主な内容

- 9月定例会：一般会計決算審査報告 . . . . . p2
- 一般会計補正予算案・教育長人事案討論 . . . . . p4
- 常任委員会の審査状況 . . . . . p5
- 行政視察報告 . . . . . p7
- 議員7人が一般質問 . . . . . p8
- 議案の賛否・陳情審査 . . . . . p15
- 町民登壇 . . . . . p16

## 三朝中学校 大運動会

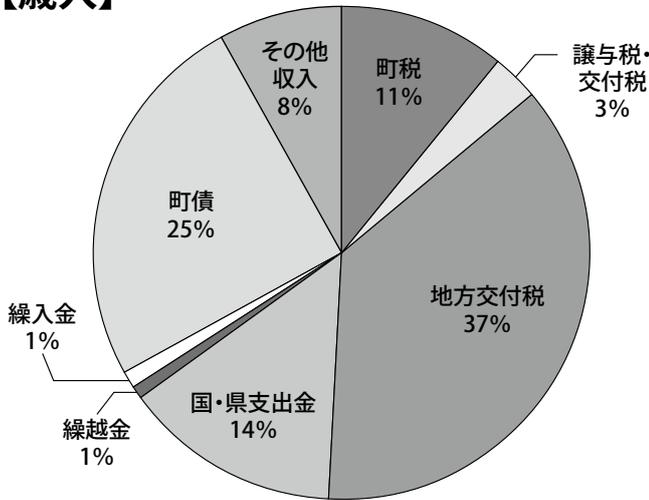
題字

東小学校5年 前田陸斗さん

10月21日に発生した鳥取県中部地震の影響により本広報の発行が遅れたことをお詫び申し上げます。

# スポーツセンター耐震・デジタル防災無線 終わる

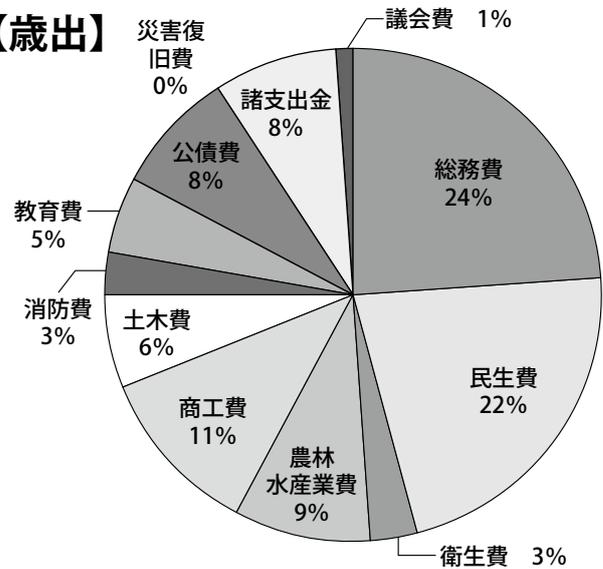
## 【歳入】



(万円)

町税	66,071
譲与税・交付税	18,956
地方交付税	222,030
国・県支出金	85,149
繰越金	6,724
繰入金	5,231
町債	151,470
その他収入	45,271
計	600,902

## 【歳出】



(万円)

議会費	8,678
総務費	139,318
民生費	128,437
衛生費	16,379
農林水産業費	52,565
商工費	64,982
土木費	35,783
消防費	17,001
教育費	32,591
公債費	44,943
災害復旧費	0
諸支出金	50,619
計	591,296

## 多目的駐車場

各種施設（喫茶店・朝市等）の設置はどうなっているか。また、三朝温泉の魅力、三朝温泉街の再点検をするべきではないか。

三朝温泉開湯850年記念事業の中で、三朝温泉街の再整備計画を立て事業展開した。将来構想として、多目的駐車場が周遊拠点になるためには利用状況、関係者のみなさんにお話を伺いながら、三朝ならではのもの、温泉地らしいものは何かというような観点の中で、にぎわって行くような施設の計画を立てて機能向上に向けたと考えている。

三朝温泉街の魅力、温泉街の再点検をするべきではないかという事で、継続しながらニーズ、三朝温泉の魅力について常に点検をしながら事業展開しなければならないと思う。今年度は温マルシェの開催を計画している。

## 公用車の管理運用

運用規定に基づいて適正に管理運用されているか。

三朝町有車両使用管理規定に基づいて管理運用をしている。一般的な物は管財で管理し、運行については総務課で安全管理を行っている。建設水道課のような専用車両については、担当課で管理している。使用については、事前に行先・概ねの時間等を申請し、それに基づいて運用して行く。町長車についても、事前にその日に行動予定を明らかにし、終了時には車両の走行距離等日誌を書き記録を取っている。

## がんばる地域プラン事業

みささの特産品（神倉大豆・三朝米）について、積極的な推進をして行くべきではないか。



県の事業で平成26年にプランを作成し、三朝独自のものを入れながら計画した。具体的には三朝神倉大豆・三朝米PR等積極的に推進して取り組まなければいけないという状況である。

旅館等への供給について、プランの中で特選三朝米という枠で米を作って、三朝温泉に供給する事を計画している。旅館にも評価され生産者にもメリットを出すという事が前提で、推進費の中で去年は生産者、旅館両方で40万円を交付している。生産者にはメリット金を還元した。

神倉大豆は、今年30ヘクタールになっているので、かなり消費も伸びているので、生産現場と動きが一致するように頑張っていきたい。このような状況でがんばる地域プランを進めている。

## プランナーみささ

これから指定管理者に指定しようとしている者について、どのような協議がなされ提案があったのか。

協議については、正式に指定管理者に指定してから具体的な協議に入る。

提案については、グループ企業から専門の担当者を派遣して社員教育を行う、施設内にコンシェルジュを設置して三朝温泉の歴史・効能などをPRする、入浴に関しては、宿泊者の入浴時間の延長などの提案があった。また、閑散期には自社グループの研修会を計画し利用促進を図るなど、全体的にグループリソースを生かして施設の振興を図りたいという提案があった。

## 遠距離通学費

すべての児童、生徒が負担額なしで通学することが望ましいのではないか。また、定期券を一括購入し、配付することは考えられないか。

現在、定期券を利用している小学生は西小で72人、定期券購入以外の補助は61人である。バス通学もあれば家庭の事情で車での送迎もあり、各家庭の実態に応じて補助金を出している。現在のところ定期券の一括購入は考えていない。

## 地域協議会の交付金

住民の数、世帯数が各地域協議会においてずいぶん格差があるのに、一律150万円であるのは公平性に欠けるのではないか。

地域協議会の交付金は、三朝町地域の総合力を高め自立を促進する条例という事で、平成18年3月24日で決定し、定められた団体に地域づくり活動を一層促進するために交付している。150万円定額というのは、連絡会等で聞く段階で地域協議会から一律交付が望ましい。それぞれに地域の実情・課題解決に向けて予算の必要な所もある。それについては、補助制度の情報提供PRに努めている。交付金は減額しない方向で考えている。



## その他の審査項目

- ・観光協会の業務について
- ・三徳山世界遺産登録推進の今後の方向性について

## 一般会計決算審査特別委員会とは

「決算」が議会に提出される9月定例会において、その認定審査のために設置される委員会です。本町議会では、委員5名で構成されています。

## 平成28年度三朝町一般会計補正予算案を否決

執行部から提案のあった平成28年度三朝町一般会計補正予算（第2号）について、次のとおり清水成真議員が反対討論を行った。

### 反対討論 要旨（清水成真議員）

PTA や町民にも説明していない段階で、「コンクリート3階建て」から「木造校舎」に変更するという説明を受けた。これにより学校建設費も7,400万円増額となる。教育委員会の合議では無かった。

また、子ども達の安全を考えるならば、最悪の事態を想定して物事を進めていくべきである。小学校よりも古い中学校を含めた校舎一体型の新校舎の建設を急ぐべきではないか。

さらに、教育委員会定例会の議事録も、学校統合準備委員会の報告も、1年3ヶ月以上も更新されていない。これでは、町民への説明ができているとはいえない。

「新校舎建設」は、まずは、教育委員会がどのような三朝町の教育のあり方を考えているのか、また、新校舎の全体像を明らかにし、町民やPTAの意見を吸い上げて、その考え方をもとに基本設計をしなくてはならないと考える。

当初議論された、建設予定地の7つの候補地の内、再検討されたのは、4つの候補地であり、3つの候補地を外し、再検討をしなかったのか疑問である。「建設予定地の土地買収費」が、当初の金額から増額され、9億5,000万円に膨らんでいる。なぜ増額になったのか、その理由についても明確な答弁がなかったことは残念である。「建設予定地」については、民家に囲まれている。今後、学校の中に学童保育の施設を併用したり、中学校の建設や校舎一体型の義務教育学校を考えると、あの西小学校東側の土地は、全く発展性がない。

(注) 尚、9月21日に開かれた臨時議会において、執行部から、小学校統合事業費を除く補正予算案が提出され、全会一致で可決成立した。

## 教育長（再任）人事案は不同意

同じく執行部から提案のあった教育委員会教育長の任命について、池田雅俊議員が反対討論を行った。

### 反対討論 要旨（池田雅俊議員）

私が議員になってから3年間見てきて、第一に教育行政のトップとして確固たる信念をお持ちでない事。第二に教育現場に足しげく通い、学校現場の様子を直接自分の目と耳で確認することをあまり実施されておらず教育的実践指導力が欠落し、教育行政、教育実践においてガバナビリティーを全くと言っていいほど発揮してない事。第三に教育委員会内において何ら説明もしてない案件を議会に示してくるなど、意思疎通が十二分に図られていない事。第四に議員及び議会を軽視した言動が絶えず、議会との調和を図れない事。第五に町の教育現場に必要な人材確保のための努力ができていない事。

少なくとも、これら五つの事に関しては、教育長として最低限満たして頂けなければならない事。それが見当たらないと思われる。

以上の理由により同意することはできない。

## 常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

### 総務教育常任委員会

#### 危機管理課

##### 携帯無線機

(委員) 携帯無線機更新について、各消防団に配備してあるものか。

(回答) 28台の更新中、消防団には11台、団長、副団長（地区団長）、副地区団長の11名に貸与している。また、三徳山、社会福祉協議会にそれぞれ1台。残りは役場で管理し、災害、火災発生時に持出し運用していく計画である。

(委員) 災害マップの進捗状況は。

(回答) 28年度中に完成させます。



#### 財務課

##### 減債基金

(委員) 普通交付税の1億5千万

円を減債基金に積み立てるといふことか。

(回答) 過疎債等の発行が膨らみ、その3割は後年度の町負担となるため、それなりの積立てをしておかなければならないが、当初予算で積立てる予算が組めないのもこの程度の額は積立を行い後年度に備えたい。結果としては委員の言われる通り。

#### 社会教育課

##### 文化財の保護は

(委員) 文化的価値が高いと思われるものについては、誰かから指摘を受けてから調査にはいるのか、あるいは町が積極的にそういったものを探索・調査していこうと考えているのか。

(回答) 町内全ての部分で、少しずつ調査を進めていて文化財保護委員を含めて、町主導の方向で動いている。



#### 教育総務課

##### 学校統合問題

(委員) 全協で、教育委員会の合議である、と言っていた事が実はそうではなかったという事だが、どうしてこんな事になったのか。

(回答) 教育委員会に対して、予算については確認したが、債務負担行為と木造校舎への変更については説明していなかった事を後で確認した。全協の場で間違った答弁をしてしまったため、町長、教育長の判断であげたということである。その後、臨時の教育委員会を改めて開き事後承認を得た。

(委員) 将来的に一貫教育、義務教育学校の方向性が出た時、原案の場所では一体型は不可能。じっくり時間をかけるべきだと思うが。

(回答) 小・中学校それぞれの教育を充実させながら連携を図り、内容を高めていきたい。一貫校にする意味あいとして、中1ギャップ、学力向上といった問題がただちに解決できるものでもないので時間をかけて考えたい。

## 産業民生常任委員会

### 企画観光課

#### バス運行対策費補助金 (3,833万円)

(委員) バス運行補助金について町の実質負担金は600万円と聞いていたが、決算報告を見ると、単町路線で860万円、国県路線にも町の補助金が支出されていることを考えると、1,000万円近い金額になるのではないか。

(回答) 平成27年度の町の実質負担額は3,800万円に対し600万円の負担となっている。



町内を走る路線バス

#### 緊急経済対策費 (5,726万円)

(委員) 緊急経済対策事業について、多くの補助金を使ったが、検証を行ったのか。

(回答) 平成27年度秋季に補正

予算化した事業を合わせ、33事業があり、地方創生総合戦略の中には対象事業として133事業がある。

平成27年度に事業完了した事業については、現在国、県



緊急経済対策事業の一つ  
「神の食卓プロジェクト」

に対して事業報告を行う時期で、成果目標や事業の今後の方向性を7月のプロジェクトチームで検証を行い、8月開催の推進会議で報告を行い、意見を聞いたところ。今後の総合戦略の見直しや当初予算での事業化に反映させる予定としている。

#### 観光振興地域交付金 (258万円)

(委員) インバウンド推進事業と記載してあるが、マップの増刷だけなのか。外国人観光客の対策として、宿泊等の対

策はしていないのか。

(回答) 誘客対策としてはパンフレット作成が中心となる。他に温泉街の案内看板をすでに5カ国語の表記をしている。

### 農林課

#### ナラ枯れ対策費 (167万円)

(委員) ナラ枯れの被害が今年になってすごい。ナラ枯れ対策は伐採するだけか。

(回答) 対策は樹幹注入と言って、ドリルで穴をあけて薬剤を注入するか、害虫の潜入を防ぐため、木にラップを巻いて保護する対策がある。

### 建設水道課

#### 町営住宅払下事業費 (43万円)

(委員) 全戸の払い下げ希望が望ましいが1件しか希望がない。何か問題でもあるのか。

(回答) 平成19年の法律変更により譲渡価格について町の裁量が無くなったため譲渡金額が高いと考えられる。また、ローン借入の関係もあると考える。

# 行政視察報告

## 産業民生常任委員会

視察期間：平成28年6月28日～30日

### (1) 宮城県登米市の農産物の地域ブランド戦略

登米市は宮城県の北東部に位置し、県内有数の穀倉地帯で農薬、化学肥料をできるだけ減らした環境保全米（ササニシキ、ひとめぼれ）の主産地として有名な地域である。

ブランド認証制度は、米、豚肉、牛肉、味噌、酒、あぶら麩など9品目を共通事項13項目、また品目ごとに基準を定め、審査協議会にて審査し、認証している。

ブランド認証制度、基準等の詳細においては、大いに参考にするべきと思われた。

### (2) 宮城県南三陸町の復興

[自然・人・なりわいが紡ぐ安らぎと賑わいのある町への創造的復興]を基本理念に[なりわいの場所は様々であっても、住まいは高台に]を基本方針に急ピッチで復興が進んでいる。

全国的に災害等活動期に入ったと言われている中、議会、執行部、全町民で大災害について考えるべきではないだろうか。



南三陸町の復興工事



ハイパーレスキューの説明を聞く

## 総務教育常任委員会

視察期間：平成28年7月13日～15日

### (1) 東京消防庁 第2消防方面本部 消防救助機動部隊

人命救助の最前線で活躍するハイパーレスキューの迅速かつ統制のとれた活動を支える日頃の訓練及び機器類の群を抜いた性能を目の当たりにし、人命尊重の念を今一度、新たにすることが出来たと同時に基本となる行動には我々一般人でもできる事があることを知った。

### (2) 東京都品川区立八潮学園

小中一貫校として8年の実績を踏まえての義務教育学校であり、十二分な教育環境を整えることは必要条件であり、本町の今回の統合に際しても子ども達に対してこういう環境を提供することは絶対必要であると認識出来た。

### (3) 東京消防庁 本所防災館

地震・豪雨の際の身の守り方等について体験をまじえて学ぶことが出来、これを広く町民に還元していく必要性を感じた。

## フランスで日本遺産をPR

この度、9月25日から9月29日の行程で、フランス（パリ、ラマルー・レ・バン）に行ってきました。

目的は、日本遺産国際発信事業。吉田町長、三徳山を守る会会長藤井さん、守る会事務局松原さん、計4人です。

行くだけで36時間かかった、ラマルー・レ・バン町。タイヤン町長の出迎えを受け、セレモニー会場から日本遺産・三徳山と三朝温泉の宣伝。

そこでは、NHKパリ総局の取材を受け、即日、NHK鳥取放送局にて放映されました。

次の日には、自治体国際化協会パリ事務所、日本政府観光局パリ事務所、JALパリ支店、NHKヨーロッパ総局、ギメ美術館友好協会事務所にて、わが町の、日本遺産をPRしてきました。

(何故か？私たちのパスポートには、中国入国、出国のハンコが、2回ずつ押ししてあります。)(議長 福田茂樹)



フランスでの宣伝の様子

## 若者の定住化

### 問 奨学金・返済支援制度等の導入は

答 効果的な施策立案が出来るよう研究していきたい

#### ○奨学金

石田

大学等の進学率が全国平均で約53%、多くの若者が県内外に進学しており、その多くは、奨学金・教育ローンなどで借入れをし、返済をしている。

町長

近年、経済の低迷や入学金、授業料の高止まりを受け、受給者は増加する傾向にあり、学生の約半数の方が何らかの奨学金を利用されているという結果になっている。

#### ○奨学金返済

石田

卒業後、就職してからの返済に苦しむ若者がいるのが現状。

町長

昨今の社会情勢の中での就職難もあり、奨学金返済において苦勞されている若者も多い事が社会問題化し、返済の必要がない給付型の奨学金制度の創設を求める声も高まってきている。

#### ○三朝町独自の返済制度

石田

若者を地元に戻す奨学金か返済支援制度を導入し、返済の負担を和らげる必要があるのでは。

町長

公平性や適正な手法についても配慮しながら、しっかりした支援体制がとれるよう、立案に向け引き続き研究をしてまいりたい。

#### ○高校卒業後、地元に住み就職する若者の支援

石田

大学に進学する若者との公平性を考えれば、就職する若者にも、何らかの支援制度を作り、地域の活性化につなげるべきでは。

町長

高校卒業後の就職率は100%で、地元で就職する割合が、中部で平成26年度に約70%であったものが平成27年度には約80%になっている。

町としても、若者の定住促進を目的に、町内企業が町内の新卒者を雇用された場合の奨励金交付、広域的にも、雇用機会の拡大を目的とした県中部地域雇用創出補助金事業等にも取り組み、若者の定住促進に向けて引き続き関係機関等と連携を図りながら、さきの大学生等の定住促進とあわせ、効果的な施策立案ができるよう研究してまいりたい。

#### ○地元に住む若者の負担が増大

石田

戦後、国の経済・福祉等の政策の結果、少子化高齢化となり、若い世代の負担が増してきているのは現実問題だ。経済成長など何もしなくても成長する時代ではない。少しでも多くの若者を地元に戻す支援、生活への負担を緩和することが必要では。

町長

以前とは比べ物にならない



石田恭二議員

位情報が入ってくる時代になっており、若い皆さんに対する負担がこれ以上増えない形の姿を構築していく、その責任が今の私達にあるのではないかと思っている。

#### ○県が若者の定住化が進んでいないと

石田

県外からの移住者が増えていますが、県内の若者が帰ってこない。県としてもできる限りの政策をしていきたいとしている。やはり町独自の取り組みが必要では。全国で7県が奨学金返済支援制度を取り入れており、どこも人口減少が進んでいる地方だ。早期に取り組む必要があると思うが。

町長

全国的な課題であろうと思う問題に触れていただいた。いろんな場を通して、制度を変えていくという方向も見据えながら、日本の現在の高学歴の方向へ進んでいくことに対しての個々の負担が欧米並みぐらいになっていくという方向を目指して、要望活動等を展開してまいりたい。

## 震災・防災

**問** 三朝町の震災対策は？

**答** (町長) 鳥取県が見直ししている。震度5強以上は発生しないのでは！

**問** 小学生、中学生の防災教育は？

**答** (教育長) 1学期に1回程度避難訓練を行っている



吉田道明議員

### ○1学期に1回程度避難訓練を行っている

**吉田**

6月の政府地震調査委員会では、30年以内にマグニチュード6.8以上の地震が発生する確率が40%と発表された。また4月3日のNHKスペシャル(巨大災害)では、京都大学の西村准教授は、GPS測定の結果、鳥取県中部のひずみが大い、注意してほしいと言っておられる。

県が想定している倉吉南方推定断層、岡山県が想定している第2鳥取地震は、三者とも殆ど一致し、その断層は役場のすぐ裏側になっているが、県、関係市町村は早急に想定を見直し、住民に周知する義務があると思うが？

また小学生、中学生に対しての防災教育についてどう思われるのか？

**町長**

県は26年度から見直ししており、今年度中に発表する予定。鳥大の西田教授は震度5強以上はないのでは？と言わ

れている。

**教育長**

町内全児童、生徒に1学期1回程度避難訓練を実施し災害から身を守る行動を体得させている。

**吉田**

震度5強以上は来ないと言う想定は、余りにも楽観過ぎると思う。ハーバード大学のリード教授は従来のプレートの考え方はデータが乏しい時代に作られた物で見直しが必要である、と言っておられ、東北大の日野助教授も同じ意見。

東京大学の上田名誉教授も確率論から出される長期予測は役に立たないとはっきり言っておられる。山村武彦先生は災害対策は「悲観的に準備して楽観的に行動するものである」、最悪を防ぐ為にも優先順位を想定し明確に対策を講じるべき、と言っておられる。

県の震災対策アクションプランでは倉吉南方推定断層、我が町で震度6強、市町村全体で64名の死亡者、震源地の想定は明確ではなく、一般住宅の耐震化率を27年度86%目

標(事業主体市町村)とあるが？我が町では耐震設計補助金が10万円あるが、26年度は一件のみだが？

**町長**

広く発信して耐震設計にかかっていただく方向で考える。

**吉田**

アメリカでは3歳から防災教育をやっているが、淡路震災、四川大震災等を教訓にし、悲観的に対策し、ぜひ児童、生徒の命を守ってやっていただきたい。

**教育長**

本当の実のある防災教育を実施する。



## ブランド みささ

**問** 雇用の継続については？

**答** 継続していただく。また自社の研修体制を利用した人材育成等も提案

○指定管理者の選定業者は？

清水

候補者として、選定された業者は？

町長

兵庫県神戸市の株式会社ジーライオンです。

○選定基準は？

清水

どのような方法で選定されたのか？

町長

募集要項に指定管理者に期待する役割や審査基準等を明記した上で募集を行い、第一次審査は申請書類等をもとに資格要件等を確認。第二次審査は選考委員会でヒアリングを実施し、審査項目に照らして総合的に審査して上位の者を候補者とした。

○期待する役割は？

清水

選定された業者に、期待する

役割をどう考えているか？

町長

入浴時間の延長や事業者負担での浴場等の改修、コンシェルジュの設置、グループ企業のノウハウを活用した企画提案をいただいている。

○公益性とのバランスは？

清水

効率性や収益性だけでなく、公益性とのバランスが大事と考えるが？

町長

今後の協議でも、この事に十分留意しながら進めてまいりたい。指定管理者制度の導入は、地域や町民への貢献を第一に考え進めてまいりたい。

○業者選定の決め手は？

清水

町長が最終的に決めたときの決め手は？

町長

三朝温泉に対する情熱が極め



清水成眞議員

て高いと判断した。また温泉の泉質についての非常に強い思い入れを持っておられるということが決め手となった。

○コンベンション施設の活用は  
清水

コンベンション施設は、町内でもない施設なので、それを活かしたものを考えていただきたい。

町長

十分に意を体して話し合いの場に提供してまいりたい。

## 中山間地域の 活性化

**問** これからは、住民主導型の活性化を考えるべき

**答** そこに住んでいる皆さんが実情に合わせて、手法を検討していただく事が大事

○長期的な集落の存続は？

清水

長期的には、三朝町の中で、消滅する集落ができてくると考えるが？

町長

今後、何らかの人口流入が無い場合は、人が住まなくなる集落が出てくる可能性は、残念ながら否定できない。

○住み続けていただくためには

清水

移住される方も大事だが、そこに住んでいる方が、いかにワクワクしながら、さらに「幸福感」を感じるかが、最も大事だと思うが。

町長

今後さらに深めて検討しなければならないと思っている。また、今後の大きな課題だと思っ

ている。

○住み続けたいと決心した方が、幸福感を得ることがとっても大事

清水

幸福感を得るには、小さなビジネスを構築することがとっても大事だと思うが？

町長

検討させていただきたい。

清水

2人～3人ぐらいの小さなビジネスが、あちらこちらにできることが大事。そこに幸福感も生まれると思うが。

町長

いろんな形で、支え合っている町を構築していくことができれば良いと思っている。

## 小学校統合

### 問 3小学校統合の準備状況は

答 専門部会を設けて検討している

○平成30年4月の3小学校統合までの1年半をどう見ているか

山口

1年半は決して長くはなく、余裕は余りないと思う。

○間に合う期間と考える

教育長

計画を立てて準備すれば十分間に合う期間と考える。

○統合準備は多種多様、統合準備委員会には専門部会の設置が必要

山口

多岐にわたる統合準備については専門部会の設置が必要だ。

○専門家も加えて取り組む

教育長

統合準備委員会には専門部会を設け、関連課題を協議している。

○準備作業の優先順位は

山口

統合準備作業の優先順位を考えているのか。

○先ずは校名、校章、校歌の決定を

教育長

先ずは校名、校章、校歌を公募で決定したい。

次いで通学方法、学童クラブなど考えていく。

○西小学校の改修には十分な予算の確保を

山口

統合に当たっては礼儀として西小の便所の洋式化、小破修繕、内外塗装など改修が必要だ。

○西小の大規模な改修はしない

教育長

新小学校建設を考えており、西小の大規模改修は想定していない。安全面、学習面の必要な対応は行う。

○教室不足にはどのように対応するのか

山口

統合で教室が不足するため新校舎建設が提案されたと思うが、30年統合で生じる教室不足にはどう対応するのか。

○教室が1つ不足すると想定

教育長

既設多目的ホールの改修等、適切な方法を考えたい。



山口 博議員

○小学校の統合に当たって小中義務教育9年間の教育計画を示すべき

山口

20、30年先を見通した今後の三朝町義務教育9年間の具体的な計画を策定すべきである。

○向こう10年間ぐらいい見通した小学校教育の充実を

教育長

向こう10年間ぐらいい見通した小学校教育の充実を図りたい。

○小学校、中学校を別々に教育する考えを何時まで続けるのか

山口

小学校新築で小学校6年間、中学校3年間の教育を何時まで続けるのか。

○10年程度続けるつもりだ

教育長

10年程度を考えている。

向上と農家の所得向上を目指す組織、特選三朝米ブランド化促進協議会を設置し、成果に期待している。

○これからの方向は「おもてなし」の充実

山口

これからの観光地、観光産業はソフト面の充実が重要だ。

○おもてなしで観光の伸長を

町長

きちんとしたおもてなしで継続的な観光地として伸びていくと思う。



## 観光施策

### 問 町内みんなが潤う観光組織としての拠点DMOを

答 既存組織の連携強化で対応

○日本遺産の効果は限定的、持続的で強力な組織が必要だ

山口

日本遺産効果は、三徳山・三朝温泉の限定的なもので次の手の準備が必要だ。そのために三朝版DMO設置を提案したい。

○既存組織の連携と活性化

町長

既存の団体や、観光関係者だけでなく農林業関係者、地域協議会の連携強化をお願いしてい

きたい。

DMOについては、昨年発足の梨の花温泉郷のDMOを見守っていききたい。

○町民みんなが潤う観光産業を

山口

農産品ブランド化、6次産業化で町民が潤う産業の振興を。

○三朝米ブランド化促進協議会の設置

町長

観光分野と農業分野の連携で、米を通じて三朝温泉の魅力

## 行政サービス

**問** 住民に対する最大のサービスは

**答** 常に安全・安心で暮らしやすい町づくり

### ○町民への最大のサービス

池田

住民に対するサービスは、正確、誠実、迅速でおかつ丁寧で、わかりやすく、気持ちのいい対応が求められるが、町民への最大のサービスは何であると考えるか。

町長

安全・安心で暮らしやすい町づくりが心豊かでキラリと光る町の実現のための基礎となると考えている。

### ○生命・財産を守る

池田

住民に対する最大のサービスは、生命・財産を守ることだと思うが、子育て健康課経由、福

祉課の包括支援センターで、あるお年寄りの方の命が救われ素晴らしい事だと思っている。この体制をしっかり充実させるべき。又、地震の際タンスの倒れを予防する事も重要だと思うが。

町長

今後とも、こうした事に十分注意を払っていこうと思う。又、地震の時タンスの下敷きにならないよう倒れ防止の器具設置も取り上げて対処したい。

### ○笑顔で対応

池田

役場を訪れたお客さんに対する最大のおもてなしは、私は【笑顔】であると思う。実際の笑顔、そして、ことばの中にある笑顔、これが一番大事だと思うが。



池田雅俊議員

町長

「いいね」と評価を頂いていることを更により多くの皆さんに頂けるよう、そして、気持ち良くお帰りいただく事を心掛けなければいけないし、そう対応していると自負している。更に、頼りにされる役場を目指しあらゆる面において努力していく。

町長

日本遺産について知名度不足という課題を抱えていて、これをどう活用していくか自治体の手腕が試されている時期にあるとテレビ番組で解説されていたが、情報発信を積極的に行い、多方面での取り組みと併せて努力していきたい。また、クマタカについては関係者と検討したい。

えたい。

### ○矛盾

池田

統合の準備は十分な形で行う、新校舎を急ぐ、矛盾してないか。

教育長

特別支援教育の事を考慮すると校舎面積がやや不足すると思われる新校舎の建設はできるだけ早くしたい。

## 観光

**問** 日本遺産・国立公園をもっと活用するべきでは

**答** 情報発信と多方面での取り組みが必要

### ○千載一遇のチャンス

池田

三徳山の国立公園編入、そして日本遺産登録は、まさに千載

一遇のチャンス。馬場の滝、クマタカの生息域、三朝橋、南苑寺など更なる飛躍を目指してフル活用するべきでは。

## 教育

**問** 30年統合は大丈夫か

**答** 受け入れ可能、校舎面積やや不足

### ○1年半しか

池田

統合まで1年半しかない現状で何一つ準備ができてないように思われるが。

教育長

統合するのは30年ですのでそれに間に合うよういつの時期に

どの予算をあげるかこれから検討し必要な時期に提案したい。

池田

30年のスタートの時に施設設備については十分な状況で迎えられるか。

教育長

きちんと行って子ども達を迎

## 地域協議会

**問** 地域協議会を今後どのように発展させていこうと思うか

**答** 地域協議会と連携、協力し色々な角度で検討研究してみたい



能見貞明議員

○交付金150万円では少ないのでは  
能見

平成18年3月に三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例が公布され6地域協議会が発足した。各地域協議会で特色のある取り組みがなされているが、十分な予算処置が取られていないために、思い切った事業が出来ない状態にある。現在町から150万円の交付金があるが、その半分は事務局の人件費、残り約80万円で運営され、地域から集めたお金は地域により大変な温度差があり、予算の関係で思い切った事業が出来ない状態。

今年地域協議会が発足して10年目の節目に当たり、町長は今後どのように発展させていこうと思われるか。

町長

町の元気の源は、地域の存在にあると認識している。地域住民が主役となり生き生きとした暮しが実感できる自主的な地域づくりを促進する地域協議会の活動は、活力ある町を作るためかせないもので、協議会と連携、協力して振興を図っていかねばならないと思っている。

○自立とは

能見

地域協議会ではいろんな自主自立に向け努力していますが、地域協議会の自立とはどのようなものなのか？

町長

それぞれの地域ごとに長い

歴史を積み重ねて生きてこられた歴史が、非常にとうとい物として存在し、地域が活動計画を樹立されそれに予算の計画が出来上がり1年の活動が展開されているわけで、それが自立だと思う。

能見

地域協議会には金を出すけど口は出さないとっておられたが、一軒当たりの出資金は各地域協議会でかなりの温度差がある。それを町長はどう思われるか。

町長

それだけそれぞれの各世帯から協議会の活動経費に理解をされて、予算を組む段階で話し合いがなされていることに対し非常に評価している。町のキラリと光る交付金とか県の交付金を積極的に申請し向かってみていただきたい。

能見

キラリと光る交付金は単年度で非常に使いにくい。事業というのは何年も続けてこそ価値があるものだと思うが。

町長

なかなか難しいところだが、名を変え手を変えて定額の中身を検討していただきたい。

能見

この一般質問にあたり私は先日、南部町に視察に行った。7地域協議会があり各協議会に約800万円の交付金が支給され、色々な事業をしている。協議会の事務員の給料15人分、非常勤の会長、副会長の給料は町から支給し各協議会がいろんな事業をやっている。こ

のような施策をやってみたらどうですか。

町長

参考にさせていただく。色々な角度で検討、研究してみたい。

○活動のしやすい環境

能見

8月にオリンピックが終わったが、日本選手は大活躍だった。なぜこのような活躍が出来たか。それは国からの交付金上がり、よき指導者よい施設があったからこそ。

農業新聞に書いてあったが、地方創生で観光が脚光を浴びている。満天の星空、四季折々に変わる田園風景、当たり前風景に価値観がある。地方が主体的に生まれた資源や価値観を掘り起こし、インバウンドのための多様な交流を広げる。政府が農業や観光を成長戦略の柱に掲げるのは、経済をけん引する産業だからだ。地域協議会も独自の事業が出来るようにすべき。

町長

全体の交付金の額は減らさないという方向で予算担当課と話し合いをしながら来ている。そうしたことも踏まえながら、議員の視察先の何かを取り入れるようなものがあるかどうかいろいろ検討してみたい。

# 三朝町の明日に期待

## 新校舎建設

**問** 義務教育学校を見据えた新校舎建設を検討すべき

**答** 早期に新校舎を建設し、教育環境を整備する

**藤井**

議会での総括では、学校統合の問題は、統合と新校舎建設とは切り離して別々の問題として考えるべき、小学校統合については、少人数学級の解消が一番の問題と捉え、教育大綱にある通り、平成30年の統合を目指すべきである。

新校舎建設は、今後は三朝町の教育のあり方、また、新校舎の全体像を明らかにして、広く町民に説明し、意見を吸い上げるべき、建設予定地は、公用地を含めた他の候補地も視野に入れ、安全面も含め、町民の理解を得ることが必要である。三朝中学校の老朽化も含め義務教育学校も見据えた新校舎建設を検討すべきである。この総括について町長、教育長に伺う。

**町長**

特別委員会からの調査報告書

については、7月6日に議長より提出を受けた。学校統合の問題は統合と新校舎統合とは切り離して別々の問題として考えるべきであるという意見については、新小学校となる西小学校の校舎は建築後およそ50年が経過し、施設の老朽化が相当進んでいる。できるだけ早期に新校舎を建設しよりよい教育環境を整備することが必要と考えている。

**教育長**

三朝中学校を含めた校舎建設の場合、新小学校建設費の約1.5倍の経費がかかると見込まれ、財政的に難しく取り組むことができない。新校舎での小学校教育と小学校卒業後に受ける中学校での教育を今以上に充実させ、三朝の子どもを育てていきたい。

**藤井**

平成19年に東小学校、西小学校、南小学校の耐震問題に約



藤井克孝議員

1億5,000万円使い、平成27年に入って教育長から3校統合という形になった。一体この1億5,000万円を使ったのは何だったのだろうか。

**町長**

地域に大きな避難所としての拠点が必要であろうという観点で、今後いろんな利活用の面があらうと思う。

## バス利用

**問** 通学費の負担が大変だと聞いている

**答** 定期券購入または通学距離に対し通学費の補助を行っている

**藤井**

三朝町の人口は年々減少しつつある中、バス利用者も年々減少しつつある。どのようにバス対策協議会で議論されているのか。年間に国の補助対象路線2系統、県の補助対象路線11系統、町単独運行路線5系統、合計18系統で3,833万2,000円を支払っている。

2、3人の学生を持たれている方は、通学費が大変だと聞いている。議論すべきでないか。

**町長**

路線バスは町内を走る唯一の公共交通機関として長年にわたりその役割を果たしている。

バス利用協議会は、利用促進に向けた取り組みも検討いただいております。時刻表の全戸配布や割引定期券の情報提供、バス停の改修や設置、フリー乗り降りなどの協議を行い、必要に応じてバス事業者に対して要望も行っていきます。

現在小中学生を対象に通学費の補助を行っており、通学距離が2km以上の児童生徒に対して、定期券購入の場合は2kmを除いた残りの全額を、そうでない場合には通学距離から2kmを差し引いた距離に対して1kmにつき16円を乗じた額を補助金として交付し、学校から

自宅までの距離によって通学費に差がでないようにしている。

**藤井**

三朝町内で限界集落等も増えてくるなか、バスの運行状況を踏まえて、バスの利用について真剣に取り組んでいかなければならない。

**町長**

県等においては県議会議員がメンバーに入って意見を言っておられ、ぜひ本町の議会も委員会の委員として入りご意見をいただき、ご活躍いただくといった方向でご検討願えればありがたい。



## 【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）	石田	吉田	池田	能見	中信	山口	清水	藤井	平井	山田	牧田	福田	結果
		恭二	道明	雅俊	貞明	貴美代	博	成眞	克孝	満博	道治	武文	茂樹	
	町長提出議案名													
	(7月臨時会)													
57	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
58	工事請負契約の締結について（三朝町総合文化ホール設備改修工事（機械設備））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
	(9月定例会)													
59	平成28年度三朝町一般会計補正予算（第2号）	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	否決
60	平成28年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
61	平成28年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
62	平成28年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
63	平成28年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
64	平成27年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定
65 75	平成27年度三朝町特別会計歳入歳出決算の認定について（11件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定
76	三朝町税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
77	三朝町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
78	三朝町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
79	三朝町国民宿舎プランナールみささの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
80	教育委員会教育長の任命について	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	不同意
81	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	同意
諮問 2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	適任
	(9月臨時会)													
82	平成28年度三朝町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
	議員提出議案名													
	(9月定例会)													
議7	参議院選挙の合区の見直しに関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。

※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です。

## 【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情	鳥取の保育を考える会	趣旨採択	処遇改善については平成29年度予算で実施されることが決まったが、配置基準についてはこれからの課題として残されたため陳情趣旨は理解できる。
少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情	鳥取県教職員組合中部支部	採択 意見書提出	現行制度のままであると、地方自治体の財政圧迫によるサービス低下を招くおそれがある。

## 農業の担い手 グリーンサービス

有限会社 グリーンサービス 代表取締役

森 嶋 誠 美



当社は、現在23年目を迎えており、経営規模は、直営水田21ha（水稲15ha・神倉大豆6ha）・水田作業受託延べ45ha（水稲29ha・神倉大豆16ha）、観光果樹園1ha、いちごハウス0.05haとなっております。

水田受託事業では、高齢化と近年の米価低迷により、更に当社への委託農家が増える傾向にあり、機械装備や労働力等現体制では限界を感じています。

これについては、前年発足した「三朝町水田農業担い手協議会」（16名・8組織）の会員と話し合いながら、お互いの分散した受託農地を集約化することや、作業の相互補完、遊休機械の融通などを通して、担い手農家の収益性の向上と当社の円滑な運営が図られるよう連携を深めたいと考えております。

また、JAが販売する神倉大豆製品の売り上げが伸びてきており、特産品としての定着をなんとかして図りたいところでありますが、播種・刈取等の機械作業について生産組合員の負託に応えられるよう、随時大型機械を導入しているところであります。今後は品質に影響する、防除及び排水対策でも支援が出来ないか検討中であります。

黄金色の稲穂と真っ赤な曼珠沙華のコントラスト、鮮やかであった秋の風情が近年色褪せたように感じます。手入れの行き届いていない水田・畦畔・河川・里山、我々の身近な場所に人の手が加わらなくなったことが原因であります。

「環境整備は町の品格」として町づくりを進めている例がありますが、わが町は観光の町、観光拠点だけでなく町全体の佇まいがお客様の印象を作

ります。

町民がこの意識を共有して、身近なところの環境整備に努めたいものであります。当社もその一助となるべく社員一丸となって邁進してまいります。



水稲収穫作業

### ●題字提供者紹介



みさき  
議会だより

東小学校5年 まえ た りく と 前田陸斗さん

僕は、今、東小太鼓にがんばっています。元気くとタイミングよくあわせるのがむずかしいです。学習発表会では、最高の演奏をしたいです。

これから、クロスカントリーと野球と勉強に一生懸命がんばっていきます。

おわりに

ちよひつひつ

秋は松茸・新米・栗・柿・

キノコ・キンモクセイ。ま

だまだたくさんある。我々

にはどれも欠かせない。

旬を食べる。秋を感じる。

神からの最高のプレゼント

だ。秋は「生きていく」こと

を確信できる季節だ。だから

秋祭りは大事だ。

もし都会で生活していれば、

間違いなく「旬」が欠

乏症」になるだろう。

難しいことではない。

三朝へ来る、人と触れ合

う、共に旬を食べる、住む。

それで十分だ。

豊かさや幸せを感じる。

それでいいのではないだろ

うか。

お待ちしております。

（山田道治記）

発行責任者

議長 福田 茂樹

編集

議会広報常任委員会

委員長 藤井 克孝

副委員長 中信貴美代

委員 山田 道治

委員 池田 雅俊